


警告

- 取付けは取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 取付け前に必ずバッテリーのマイナス側のターミナルコードを外して、キーOFFである事を確認してください。
- LEDチップに触れたり汚さないでください。汚れの付着は熱溜まりによるLEDチップの焦げの原因となります。
- 本製品は精密機器ですので取扱いには充分ご注意ください。落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。誤った取扱いは故障の原因となったり、怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- LEDバルブの長さ調整を除き**本製品の分解・改造は絶対に行わないでください**。分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 点灯中のヘッドライト内のLED発光を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にレンズに水をかけないでください。急な温度変化でレンズやLEDバルブの破損の原因となります。また、LEDバルブ本体やヒートシンク、コントローラーユニットは高温になりますので触らないでください。

注意

- 本製品は、直流(DC)12v専用です。必ずDC12vを電源とした配線を厳守してください。
※小排気量車に多い交流(AC)点灯式ヘッドライト車両には対応致しませんので絶対に取付けしないでください。
- 本製品は12Vオートバイ専用となっておりますので四輪自動車への使用はできません。また、適合確認の取れていない車種に使用した場合、光軸が出ず車検不合格になる場合があります。
- 本製品は適合車種のHiビーム側への取付けを前提として設計された専用品となっております。Loビーム側に装着する事は出来ません。Loビーム専用品をご利用ください。
- Loビームがノーマルバルブ(55w)との組み合わせも可能ですが、Loビーム2灯点灯時の消費電力は75wになります。バッテリー上がりには十分ご注意ください。Loビーム側にはNo65029【LB7-S】の装着をおすすめ致します。
- 紙や布で覆ったり燃えやすい物の近くで点灯させないでください。火災や異常加熱を引き起こす恐れがあります。また、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないでください。
- 点灯した状態でのヘッドライトへの取付けは行わないでください。故障や火傷の原因となります。
- 本製品は完全防水ではありません。コントローラーユニットから出ている配線は下向きに取付け、カブラーは自己融着テープなどを巻いて防水対策をしてください。必要以上に水で濡らす事は避けてください。
- 高圧洗浄機による洗車を行う際は本製品に直接高圧洗浄が当たらないようにしてください。
- LEDバルブやコントローラーユニットを落としたり、強い衝撃を与えるなどしないでください。破損や性能の低下、寿命を縮めるだけではなく、ケガの原因にもなります。
- LEDバルブの組み付けには、この  **グリス** マークで示した箇所に必ず付属の導熱グリスを塗ってください。
- 防水電動ファンを覆い隠さないでください。ファン後方には吸い出した空気が流れる十分なスペースを確保してください。
- 防水電動ファンには取付け時の向きの指定があります。必ず丸シールの貼ってある側を外側に向けて取付けてください。
- ネジ部の緩み防止にネジロックをご使用ください。また定期的な増締めを行ってください。
- 取付けは専門知識と技術が必要です。熟練したメカニックのいる指定整備工場などで行ってください。ネット通販などで購入し、素人が取付けを行った場合、取付け不良が原因の不具合については保証の対象外となります。
- ご使用前に必ず光軸の調整を行ってください。対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 取付け作業中または使用中に少しでも異常を感じたら、ご購入の販売店または当社サービス課までお問い合わせください。

車検適合の記載について

- プロテック製LEDバルブ全般における車検対応品として示す内容は、Hiビーム側ヘッドライトに装着しHiビーム点灯状態でヘッドライト検査を行った際の最高光度と色温度についてです。
※プロテックにて適合の出していない車両に取り付けた際、車検合格基準に満たない事があります。
- 製品の取付け後は必ず、LED(新光源)に対応した検査機にて光軸調整を行ってください。
光軸調整不良や経年劣化によるライトレンズの汚れや曇り、キズ、灯体内リフレクター部メッキの剥がれ、純正以外のヘッドライトに使用した事による車検落ち、整備不良について当社は一切の責任は負いません。裏面の光軸調整のアドバイスをご覧ください。

仕様

- 定格電圧…DC13.8V
- 消費電力…20W
- 色温度…6000k
- 使用LED…CREE社製 XLamp XP-L LEDs
- 発光部のメーカー型式…LB7-KN

製品の主な特長・仕様

- **車検対応!**
本製品は車検対応品です。ハイビーム検査による基準の最高光度15,000カンデラを十分上回る光度を有しております。添付の日本車両検査協会発行の成績書にKawasaki Ninja1000の灯体で測定した最高光度が記載されております。
- **長寿命!**
ノーマルのハロゲンバルブはもちろん、H.I.D.より更に長寿命です。
- **省電力設計!**
消費電力は20wですので、一般的なH7ハロゲンバルブ(12v 55w)より省電力です。またLoビームが当社製LEDバルブ(H7 20w)を併用の場合、Loビーム2灯同時点灯でも消費電力は40wですので、ノーマルバルブのLoビーム1灯点灯と比べても15wも省電力です。
- **信頼のCREE社製LED採用!**
発光体には耐久性、信頼性の高いCREE社製XLamp XP-L LEDsを使用しています。
- **Hiビーム側専用設計!**
Hiビーム側に装着する事でLoビーム2灯点灯が可能になります。**※プロテックホームページにて最新の適合をご確認ください。**Loビーム側へ取付けは出来ませんので、別売りのLoビーム専用部品をご使用ください。
- **取付け簡単!**
ヘッドライトバルブのカプラー差し替えで配線が簡単です。**※車種によって車両側のカプラー形状が異なる場合があります。**
- **いきなり明るい素早い点灯!**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。またHIDのように徐々に発光色が変わる事はありません。
- **防水電動ファン採用! 安心の冷却システムで常に明るい!**
LEDで発生する熱をロスなくヒートシンクに伝えて防水電動ファンで冷却する事で長時間連続点灯しても熱の影響を受ける事無く20wのフルパワーで明るい光が持続します。(下図参照)

LEDチップから発生した熱は

極太アルミ無垢材に移動

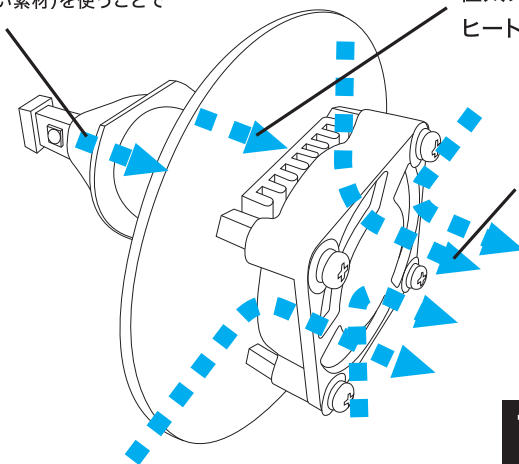
※太い素材(断面積の広い素材)を使うことで

熱伝導性が良くなる

極太アルミ無垢材から

ヒートシンクに移動

ヒートシンクへ到達した熱を
防水冷却ファンで放出

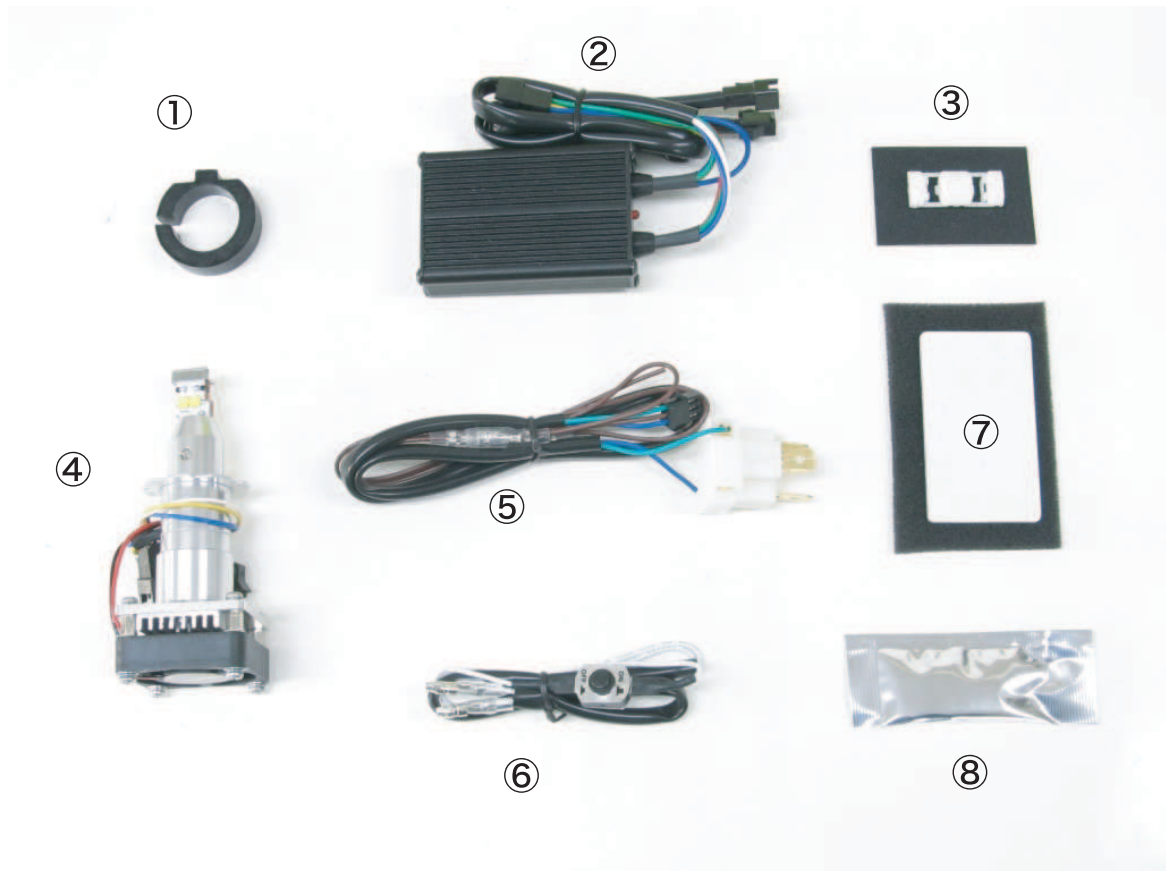


電動ファン後方は通気性の良い状態
にて使用してください。
障害物で塞がないようご注意ください。

- **入力電圧変化による光量変化がほとんどない!**
本製品は、入力電圧が1v下がっても光度がほとんど落ちない設計となっております。当社測定において入力電圧10v時の高度は12v入力時と比べて2.5%ダウンと僅かなので、電圧が低くなった旧車でも車検に合格する事が可能です。

部品表

- ① H7アダプター × 1 ② コントローラーユニット(20wHi/Lo用) × 1 ③ エレクトロタップ(白) × 1
④ H7 Hi/Lo LEDバルブ本体(ファン、ヒートシンク付き) × 1 ⑤ ヘッドライト接続ハーネス(Hi専用) × 1
⑥ ON/OFFスイッチ × 1 ⑦ 両面テープ × 1 ⑧ 導熱グリス × 1 ● 車両検査協会成績書 × 1

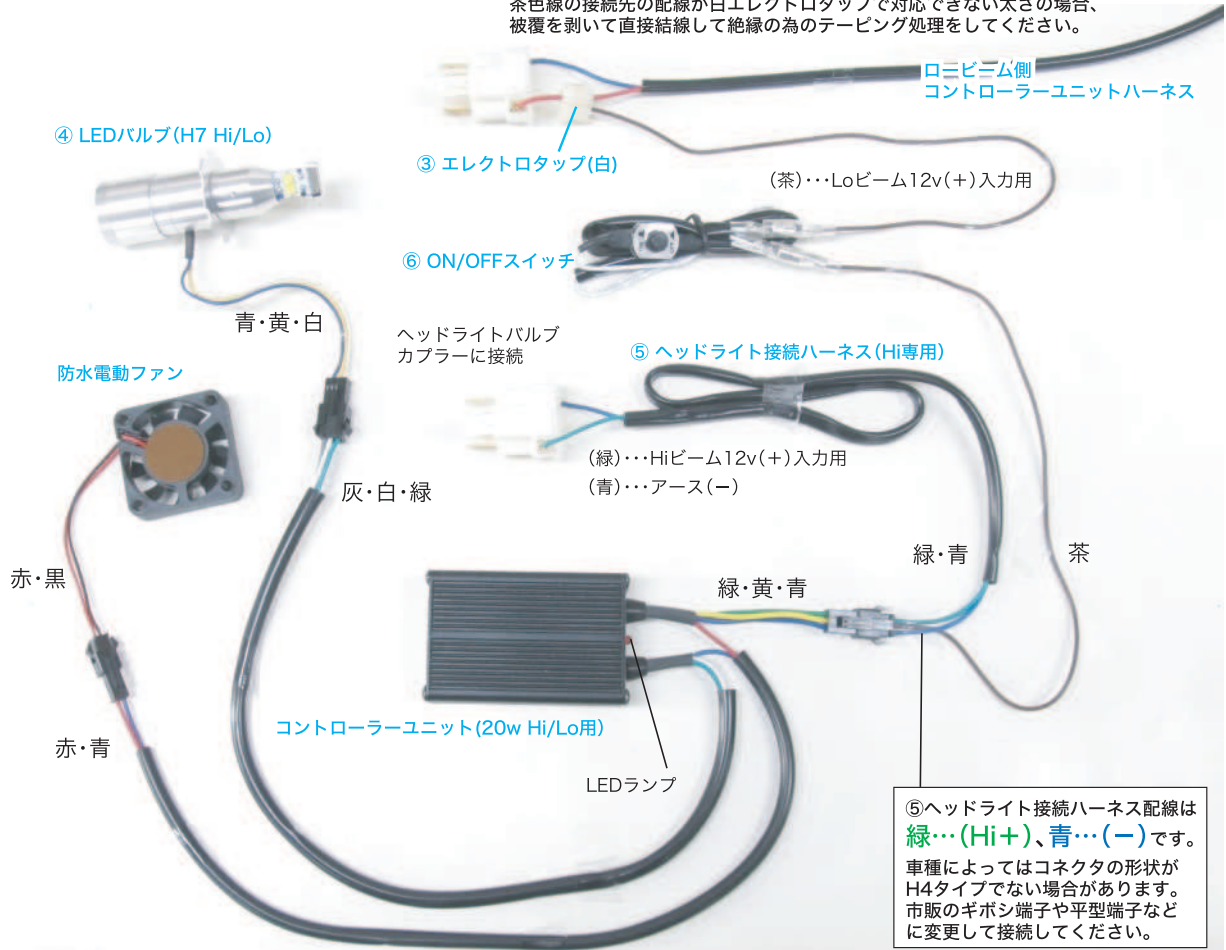


配線図

各コネクタはテーピングなど防水対策を行ってください。

茶色コードはプロテック製LEDバルブのコントローラーユニットのヘッドライトハーネス接続ハーネスの赤コードまたは茶コードに付属のエレクトロタップ(白)で結線します。

※Loビーム側がノーマルバルブや他社製LED、HIDにも取付け可能ですが、茶色線の接続先の配線が白エレクトロタップで対応できない太さの場合、被覆を剥いて直接結線して絶縁の為にテーピング処理をしてください。



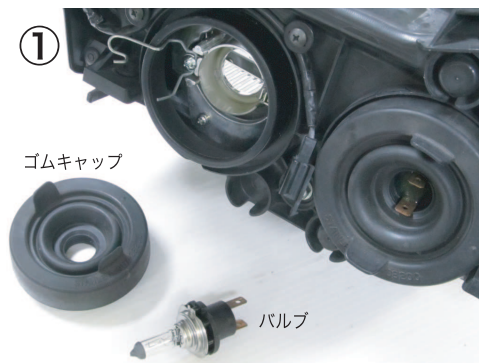
コントローラーユニットについて

- 電源の+、-逆接続保護回路を搭載しております。+、-の極性を間違っても逆接続してもコントローラーユニットは破損致しません。
- 車両側ヘッドライトハーネスの+、-の極性が分からなくても、接続後エンジン始動で、LEDランプが点灯すれば正しい接続です。LEDランプが点灯しない場合は、+、-が逆に接続されておりますので、入れ替えて接続し直してLEDランプが点灯する事を確認してください。

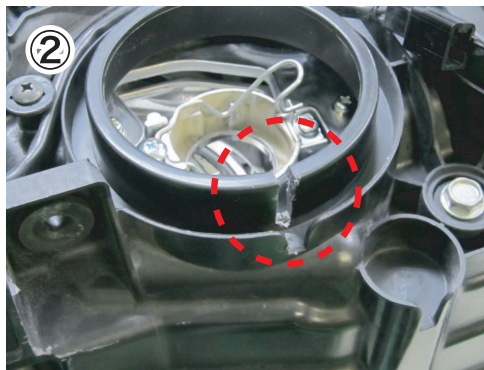
LEDバルブの取付け方法

以下の説明ではZ1000のヘッドライトを使用した物ですがZ800やZ250の場合もほぼ同じですの参考にしてください。

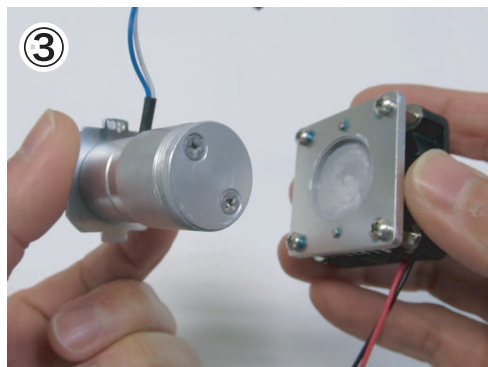
- ① 車体からヘッドライトを外します。
ヘッドライトからゴムキャップとバルブを外します。



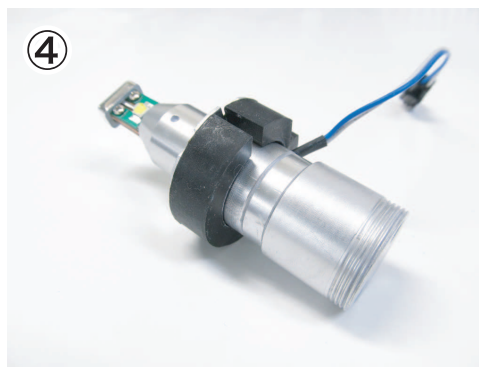
- ② ヘッドライトに配線を逃がすミゾを切ります。



- ③ LEDバルブからヒートシンク&ファンを外します。
反時計回りに回転させれば外れます。

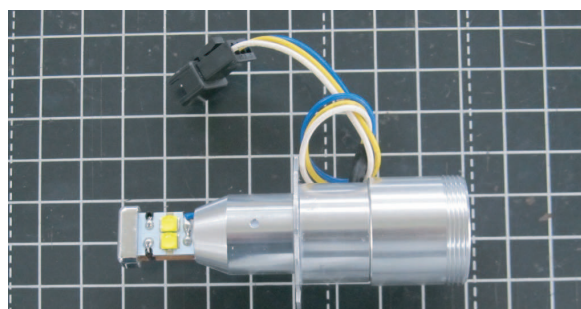
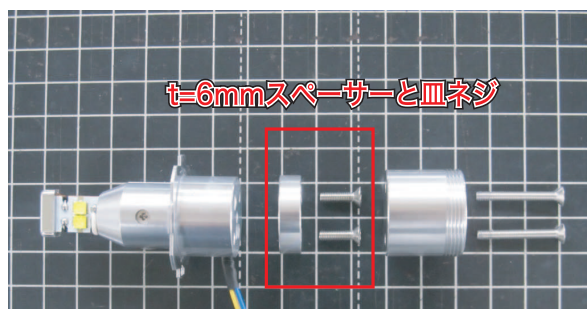


- ④ H7アダプターを取り付けます。

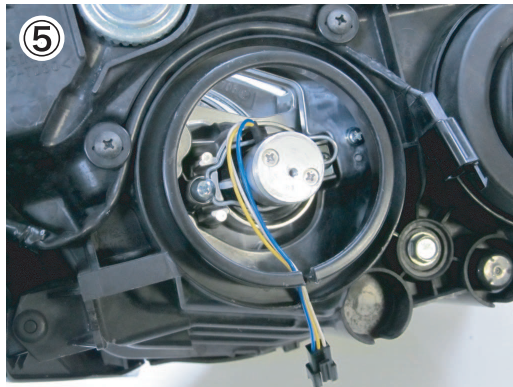


'07~'09 Z1000はLEDバルブの長さを短く調整します。

LEDバルブ後部のパーツを下画像の様に分割します。中央のt=6mmスペーサーと皿ネジは使用致しません。
t=6mmスペーサーと皿ネジを除いた状態で最後部の部品を取付けます。



⑤ UPの刻印及びコードを上にしてLEDバルブを取り付けます。LEDバルブの配線は下方向へ出します。



LEDバルブの配線をゴムキャップで押し潰さない為のアドバイス

①



カワサキ車のゴムキャップの例

②



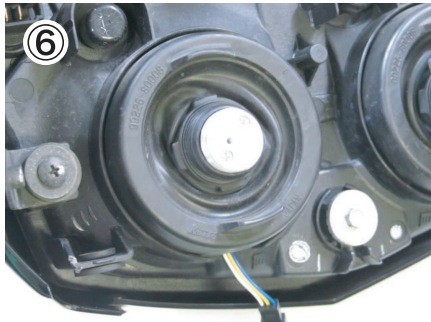
ゴムキャップの中央部分をめくり出します。

③

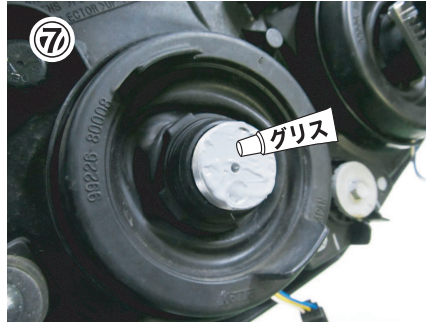


中央部分を押し込みます。

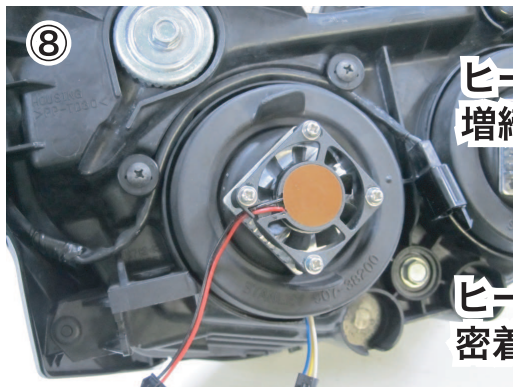
⑥ ゴムカバーを取付けます。
LEDバルブのコードを潰さないでください。



⑦ LEDバルブ後部に導熱グリスを塗ります。



⑧ ③と逆の手順でヒートシンク&ファンを取付けます。
組み付けネジ部は細目ですので破損には十分注意してください。
密着するまで約3回転ほど締め込んでください。



ヒートシンク基部は定期的に増締めしてください。

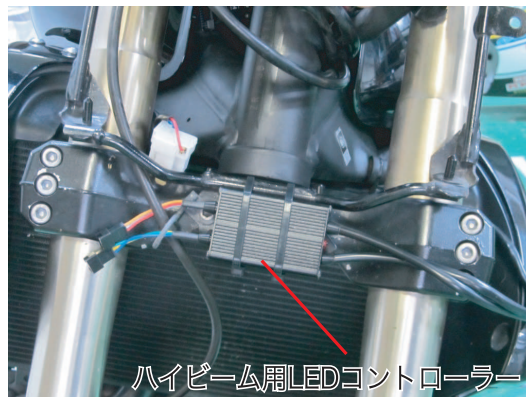
ヒートシンク基部はLEDバルブ本体に密着するまで締め込んでください。

※LEDバルブとファンユニットのヒートシンクの密着が不十分な場合、LEDの破損や寿命が短くなるなどの点灯不良の原因になります。
上記が原因での取付け不良の場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

コントローラーユニットの取付け位置について

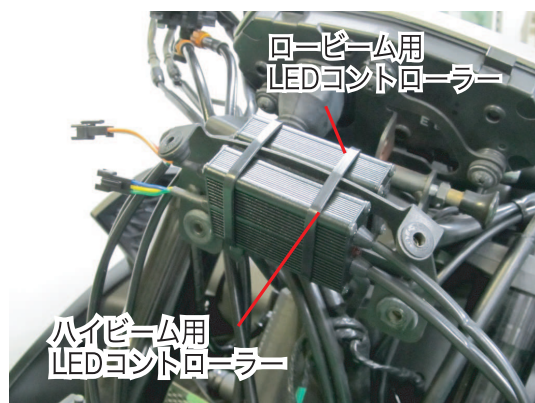
'07~'09 Z1000の場合

ハイビーム用のコントローラーユニットはステムに貼り付け結束バンドで取付けます。
ロービーム用のコントローラーユニットは右側フレームに貼り付け結束バンドで取付けます。



'10~'13 Z1000の場合

スクリーンステーの両面から挟む様に貼り付けて結束バンドで固定します。



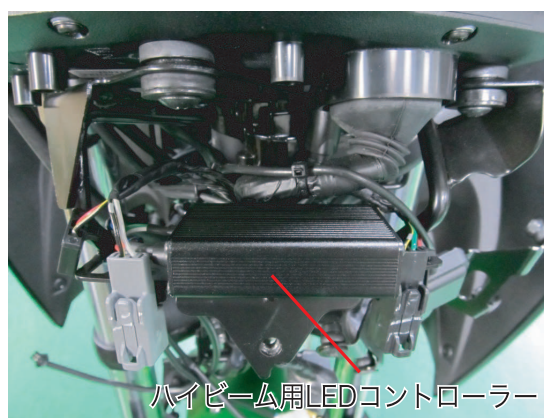
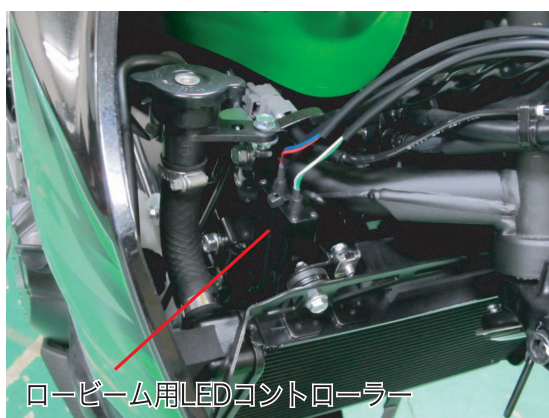
'13~'16 Z800の場合

下の画像を参考にヘッドライトカウル裏に貼り付けます。



'13~'17 Z250の場合

ハイビーム用のコントローラーユニットは下の画像を参考にメーター裏のステーに貼り付けます。
ロービーム用のコントローラーユニットは下の画像を参考にラジエーター後部に収納します。



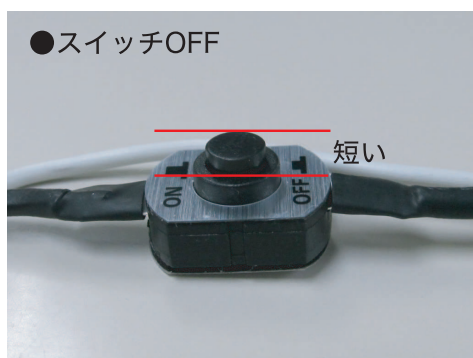
本取説表面の配線図に従って各カプラーを接続してください。配線は結束バンドなどで確実に固定してください。
※ハンドルを左右に切った時にコード類が引っ張られたり、たるみすぎない様配線してください。

※車検、光軸調整について

- ・LEDヘッドライトバルブ取付け後は必ず光軸調整を行ってください。
 - ・調整不良は車検落ち、他の通行車への迷惑になります。
 - ・光軸調整はLED対応のヘッドライトテスターのある整備工場などでHiビームの調整を行います。
 - ・Loビーム2灯点灯でも違反ではありませんが、車検の際は念のためノーマルの点灯状態に戻して検査する事をおすすめ致します。下記の【※ノーマル状態のLoビーム1灯(片目)点灯への戻し方】をご覧ください。
- ※弊社にて測定実績の無い車種については車検に通らない場合がございます。
- ※自動二輪車の車検時におけるヘッドライト検査は走行用前照灯(Hiビーム)での検査となっておりますが、車両の製造年によってはすれ違い用前照灯(Loビーム)での検査になる場合がございます。
- 本製品は走行用前照灯(Hiビーム)での検査に対して有効です。すれ違い用前照灯(Loビーム)での検査の場合、車両側のヘッドライトの構造との相性でヘッドライト検査に合格しない事がございますのでご了承ください。

ノーマル状態のLoビーム1灯(片目)点灯への戻し方

部品表⑥ON/OFFスイッチを使用している場合

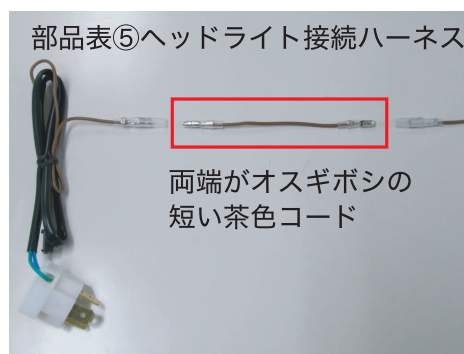


- スイッチOFFにする事でHiビーム側ヘッドライトのLoビーム点灯がキャンセルされてノーマルと同じLoビーム1灯点灯に戻す事が出来ます。

※このスイッチをOFFにするとHiビーム側のヘッドライトのLoビームが消灯します。この場合、ヘッドライトを消すスイッチとみなされて車検に落ちる恐れがあります。スイッチを目立たない場所に取り付けるか、スイッチを取り外して車検を受けてください。

- スイッチはON（飛び出た状態）で導通し、Loビーム2灯点灯になります。
- スイッチOFF（凹んだ状態）の時に、Loビーム2灯点灯機能がキャンセルされてノーマルと同じLoビーム1灯（片目）点灯になります。

部品表⑥ON/OFFスイッチを使用していない場合



- 部品表⑤ヘッドライト接続ハーネス(Hi専用)の両端がオスギボシの短い茶色コードを抜く事で、ノーマルと同じLoビーム1灯点灯に戻す事が出来ます。
- ※抜いたギボシは車体金属部に接触してショートしない様にテーピングなどで絶縁処理をしてください。